

かわまた隆の活動報告

もっと咲け桜川市と市民自治



2022年7月 第3号

はじめに

諸事情で、活動報告が遅配になりましたが、3月以降の活動を連続して報告します。今回は6月市議会の質疑や調査の報告、そして3月市議会の最終日に突然提案された「市議会議員報酬の引き上げについて」です。私たちの身近な問題が、十分議論もされずに、するりと通過していくさまに、驚きすら感じる経過でした。



補正予算の修正動議（インターネット中継）を出しました。否決です。

「市議会のインターネット中継をすすめます。」は、私の公約の第一番目にあります。今や、県内でインターネット中継を行っていないのは唯一、桜川市のみです。区長会からも、令和2年12月にインターネット中継の要望が議長に出され、同3年4月には、「検討します」と回答しています。

今回、5月24日に市議会のIT化をすすめるため、議員向けのタブレットのデモンストレーションと使い方の研修があり、6月14日からの第2回定例会に、補正予算（第2号）として、「議会費」にタブレットの購入費など592万円が計上されました。

しかし、です。私は、議員がタブレットを貸与され、情報化に取り組むのに対し、区長会や市民から強い要望がある「市議会のインターネット中継」予算が計上されないのは、均衡がとれず、不公平と考え、菊池議員と連名で6月15日に修正動議を出しました。

<修正動議の内容や根拠は>

提案の趣旨は、市議会本会議のインターネット配信のための経費150万円です。財源は繰越金です。カメラ等の備品購入費50万円、中継・配信業務委託料100万円で、平成26年9月からインターネット中継を実施している笠間市の予算244万円を参考に算出しました。市の予算案は、地方自治法に基づき次の手続きで修正ができます。

- ① 議員の12分の1以上で修正議案が出せること
- ② 予算案についても減額修正は可能なこと
- ③ 予算案の増額修正についても、市長の提案権を侵害しない範囲で可能なこと

が定められています。

過去の事例では、平成22年3月に「岩瀬駅前の整備工事2,588万円の減額修正動議」がありました。関係者が「予算の増額修正ができることを初めて知った」というのにはこちらもビックリですが。

<インターネット配信するための経費の追加には反対、その主な理由は>

賛成は 菊池議員と川股で、そのほかの議員は反対です。反対の立場からの質問は、5人の議員からありました。その主な内容です。

- ・ 経費算定が不明確である。
- ・ カメラ等を購入しても新庁舎で設置するので無駄になる。
- ・ 少額の予算で小出しにしても、その後に多額となる。
- ・ 経費をかけずとも中継はできる。
- ・ インターネット中継をしてもPCを使いられない市民は見るができない。

等々です。これはいかに早く実施をするかという質問ではなく、「難くせ」を付ける質問ではないでしょうか。区長会への「検討します」との回答もあり、「やっている感」は演出しなければならず、生涯学習課から借用したというカメラで撮影をしていましたが、いつ録画放映するのかの説明はありません。

<いつまでに実施するかが大切>

農作業でも会社の仕事でも、①いつまでに ②どんな方法（作業内容）で ③経費と人手はどのくらいかかるかを（概ね）決めて実行します。「区長会には検討します」と回答し、議場にカメラがあるからといって、「中継をやっている」とはならないのです。予算を決め、第4回定例会（11月）から実施すると、市民の皆さんに宣言することが大切です。議長には、「議長から市長に予算計上を説得してほしい。議長の名誉のためにも」とお願いしましたが。

なぜ、多くの議員はインターネット中継予算に反対するのでしょうか？『議員は公人である』と公言する方が、市民の皆さんに見られること嫌がる理由がどうしても分かりません。

突然の議員報酬引き上げにあ然

第一回定例会（3月14日）の最終日に議員報酬の引き上げが提案され、あっさり可決されました。2、3日前に全員協議会があり、2月2日付の「桜川市議員報酬及び特別職給料審議会（会長：中野純一）」の答申が示されました（諮問は3年12月3日となっています）。支援者等に反対請願をお願いする時間ありません。議員は月29万3千円を34万5千円に引き上げるもので、「答申の説明」では、県西7市で最下位の報酬とのこと。

私の質疑では、

- ① 市民に広報し6月の議会で決めるべきではないか。
- ② コロナ禍の中で市民の理解は得られるのか。
- ③ 区長会からのインターネット中継の要望があるのに、要望には応えず、自らの報酬を引き上げるのは順序が逆ではないか。

と質問しました。また、私の反対討論用メモには、桜川市の議員報酬は、定例会の開催日数が少ないため、定例会1日当たりで計算すると3万3千円となり、周辺3市と比べても一番高いと記されています。

<反対討論はできず>

反対討論 は菊池議員が議長から指名され、私も同時に手を挙げたので反対討論を求めたところ、「反対」、「賛成」、「反対」の順に行うとの議長の説明で反対討論を待ちましたが、賛成討論を行う議員はおらず、即、採決になりました。

当初予算案の採決も同じですが、反対討論はあっても、賛成討論は行わず（賛成討論を行う議員がない）、常任委員長の報告どおりに、起立採決になっています。「どうして賛成なのか」、「どのような理由で反対なのか」の議論を行わない市議会、そして賛否の議員名を公表しない市議会、多くの市民が疑問を抱くのは当然でしょう。

20億円のお金の使いみちに困っている桜川市～早く市民に還元しよう

このお金は 国の新型コロナ対策と経済対策による補正予算（3年12月）によるものです。これに関しては、次号（かわまた隆の活動報告第4号）で詳しく紹介します。

農業用ため池のしゅんせつに取り組む

霞ヶ浦用水 事業から40年以上がたち、土地改良施設は老朽が進んでいます。土地改良組合の努力だけでは維持できません。そこで、国、県、市の制度をうまく取り込み、施設整備を行うことも大切です。令和2年度から「緊急しゅんせつ事業」という地方債を活用した小河川やため池のしゅんせつ事業ができています。三面張りの小河川の一部では、しゅんせつが始まっています。桜川市内にある農業用ため池128か所のうち、山沿いにあるため池の中には土砂が堆積している池もあります。土砂が堆積すると、農業水利としても、また、大雨の時の一時貯留としても機能しません。「緊急しゅんせつ事業」は、地方債充当率100%、地方交付税の算入率が7割という、大変有利な地方債（借金）です。



土砂がたまと機能しなくなるため池

このように有利な事業を、桜川市は積極的に取り組もうとしています。あちこちの農業用ため池に広げていきたいと考えます。

桜川市の女性管理職の現状はどうなっているのでしょうか

市総合計画 では、令和8年度までに女性管理職の割合を30%にすることが目標です。現在は管理職50人、うち女性14人で28%です。部長級は11人のうち1人、課長級は、39人のうち13人です。なお、係長級は91人のうち43人となっています。女性管理職のいない建設、経済、上下水道部など多様なポストへ配置して、一段と市民サービスの向上に寄与してほしいと考えます。

ヤマザクラなどの樹木観察と笠間道を探す

ヤマザクラ で知られる桜川市ですが、「桜川の里山みちを楽しむ会」では、雨引山、燕山、加波山、足尾山と続く里山を、曾根などの東側から、また、大曾根などの西側から登り、ヤマザクラや落葉広葉樹の観察をメンバーの皆さんがすすめています。合わせて、笠間藩の陣屋があった真壁を起点に東飯田―燕峠―木植を結ぶ笠間道という古道ルートの再発掘、加波山の修験の道の確認などを、専門家も交え観察しながら歩いています。また、羽黒から雨引山、楽法寺に至る参拝の道も歴史の古道です。

山道の手入れをみんなで行い、体力づくり、健康づくりの里山みちとして、また、東京圏からの山歩きの道としても活用できるのではないのでしょうか。里山林が身近にあるということは、多くの広がりをもたらします。大事にしていきたいものです。



加波山、笠間への道しるべ

*今号は以上です。ご意見、提案などお寄せください。なお、続く第4号では、

「20億円のお金の使いみちに困っている桜川市」

「さくらがわ医療センターの課題」

などを中心に活動報告をしますので、ぜひお読みください。

〒309-1231 桜川市本木1448 川股 隆
E-mail : kawamata27takashi@gmail.com
電話 : 0296-58-7034



※このチラシは再生紙を使用しています